

緑のセンターだより

NO.104 平成19年11月1日発行

発行元：(財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ホトトギス

ホトトギスはユリ科ホトトギス属の植物で、東アジア、インドにわたり、約20種が知られており、そのうち約10種が日本に分布しています。ホトトギス属は、地下に短い根茎のある多年草で、茎は普通単一で直立し、多くの葉をつけます。葉は互生し卵形または長橢円形、花は茎の頂部あるいは葉腋につきます。ホトトギス(杜鵑草)の仲間は花形に2つの型があり、杯型で上向きに咲き、花柱の枝が傘のように広がって雄しべの上にかぶさるホトトギス型と、鐘型で下向きに咲き、花柱の枝が短いジョウロウ(上蘗)ホトトギス型に分けられます。



ホトトギス(*T. hirta*)は本州(埼玉県から東海以西、福井県から以南)四国、九州に広く分布します。短い根茎で、山地の崖などの少し湿った半木陰に野生します。茎の高さは40~100cm、開出または斜上する褐毛を密生し、直立することもありますが、普通は懸崖状となります。

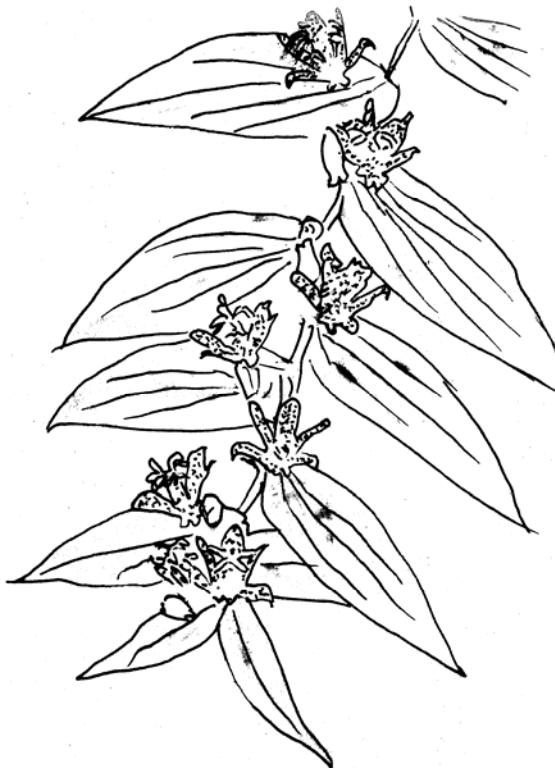
葉は長橢円形状披針形で基部が茎を抱き、表裏に軟毛があります。葉の表面には黒い油のしみに似た丸い斑があり、この様子から中国ではホトトギスの仲間を一括して「油点草」と書き、日本でもこの字をホトトギスと読ませることがあります。他に鶏脚草(ケイキヤクソウ)などもホトトギスとして使うことがあります。

開花期は9~10月、葉腋に2~3花つき上を向いて咲きます。花径は約3~4cm、花柄と外側に白毛があり、内面には紅白地に紫紅色の斑点があり、下部に黄斑があります。その斑紋をホトトギスの胸毛に例えて和名がつけられたと言われています。花色には時々白いものや暗紫色のものが見られます。サツマホトトギス(*T. hirta* var. *masamunei*)

は全株無毛です。

用途としては、庭園の下草や鉢植え、切花用に栽植されています。庭園に植えるときは、日陰に適するものと日当たりに育つものがあるので、特性を知って植えることが大切です。大多数は半日陰地に植えるのがよく、夏は乾かないよう注意します。鉢植えの場合はミズゴケ単用で植えるか、腐葉土2と振るった赤玉土1を混合した排水の良い用土に植えます。繁殖は春の植え替え時に株分けをしたり実生、梅雨の時期に挿し木も可能です。

多くの栽培品種がありますがほとんどが野生種で、園芸品種は極めて少数です。北海道にはタマガワホトトギス(*T. latifolia*)、ヤマジノホトトギス(*T. affinis*)が分布しています。(M.T.)



虫ばみし油点草あはれ仲の秋 マツ女

11月園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 百合が原と平岡樹芸センターの相談窓口は冬期間はお休みです

◆フジの剪定

日本に自生するフジには、つるが左巻きで葉が出た後に花が咲くヤマフジと、つるが右巻きで葉が出るより先に花が咲くノダフジがあり、それぞれに多数の園芸品種があります。一般に植えられているものは花房の長いノダフジ系が多いようです。フジの仕立て方は棚づくりが一般的で、他に立木仕立て、鉢植えなどがあります。仕立て方が変わっても剪定は基本的に変わりません。

フジは樹勢が強く、花後から盛んにつるが伸び始め、放任しておくと1年で10mも伸びる場合もあります。

【花芽形成】

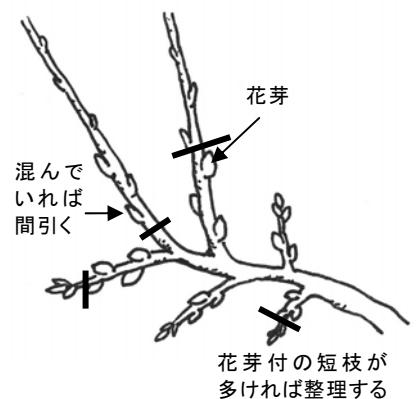
フジの花芽は、今年伸びたつるの基部の葉腋数節と、太い短枝に8月頃に形成されます。

【剪定】

剪定は落葉後行います。札幌地方では根雪になる前の11月上旬～12月上旬に行うのが一般的です。この頃になると花芽は丸く膨らみ、葉芽は細く尖っているので簡単に見分けられます。春に伸びたつるは、基部の花芽2～3芽を残して切り落とします。

短枝は切らないのが普通ですが、樹齢が古くなるに従って花芽のつく短枝は多くなり、そのままでは花房が重なりあって風情が無くなりますので、間引いたり、切り戻して花芽を少なくすると良いでしょう。花芽のない枝は芽の方向を見定めて短く切り戻します。剪定後はつるを均等に誘引し、固定します。花後に伸びたつるはさしつかえのない限り放任しますが、景観上見苦しいようであれば8月下旬頃に先端を軽く剪定します。

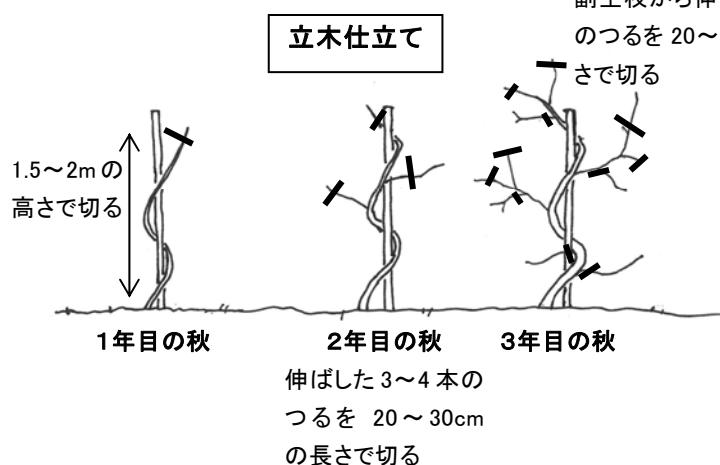
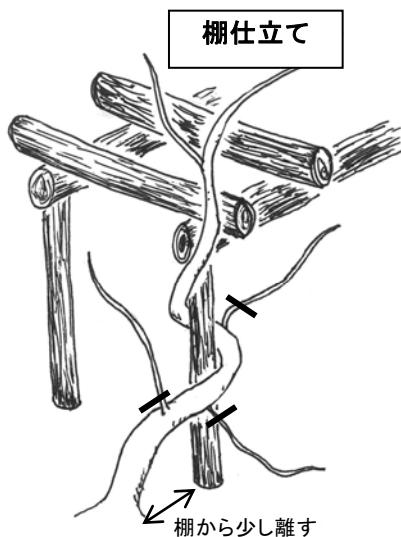
また、短枝は日陰になると枯れることが有るので短枝にかぶさる枝は間引いたり、葉を切り落としたりして、短枝に光が当たるようにします。



【仕立て方】

棚仕立ては、棚の修理のときに持ち上げやすいように棚から少し離して、ゆるみを持たせておきます。棚上に伸びたつるは毎年1～1.5mの長さに切り戻し、誘引して樹形を作ります。棚下から伸びたつるはすべて元から切り取ります。

立木仕立ては、1年目の秋につるを1.5～2mの高さで芯止めし、2年目は主枝になる枝を3～4本伸ばし、落葉後、伸びたつるを20～30cmの長さに切り詰めます。3年目は主枝から2本の副主枝を伸ばし、その他のつるは早めに切り取ります。落葉後、伸びたつるを20～30cmの長さに切り詰めます。4年目以降はこれを毎年くり返していきます。

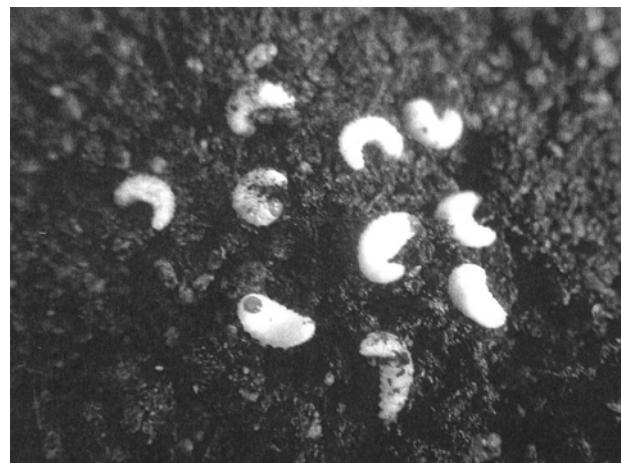


◆害虫：キンケクチブトゾウムシ

キンケクチブトゾウムシは中央ヨーロッパの原産で、ロシア、北米、中南米、オーストラリアからニュージーランドなどに分布しています。花卉、花木、果樹や野菜などの植物に広く加害する重要な害虫とされています。

日本では昭和55(1980)年、静岡県の園芸農場のシクラメンで発見されました。

北海道では平成5(1993)年8月に、札幌市西区の花卉栽培農園でシクラメンの根や球根部を食害するゾウムシが発生したので、九州大学農学部の森本桂教授に鑑定を依頼したところキンケクチブトゾウムシと同定されました。その後の調査では北海道各地に広まっていることが確認されています。



生態

甲虫目・ゾウムシ科。本種は雌だけで繁殖する単為生殖も行われますが、越冬成虫の産卵は初夏から秋にかけ2回、羽化成虫の産卵は7月上旬から翌年7月まで1年以上と産卵数が多く、幼虫は2~6°C以上で発育し成育温度は20°C前後のようにです。越冬は成虫と幼虫で枯れ草や落ち葉の下などで行っています。幼虫、成虫ともに-5~-6°C程度の低温にあっても回復することから、北海道の積雪下の土中では容易に越冬できると考えられています。成虫は体長約8~9mm、黒褐色で飛ばず歩行のみで夜間活動します。昼間は直射日光をさけるために落ち葉などの下にかくれています。幼虫は全体が白色で頭部のみが褐色です。老齢幼虫は体長約10mmです。食害されたシクラメンの鉢の中からは数個体~10個体ほどのキンケクチブトゾウムシが見られました。

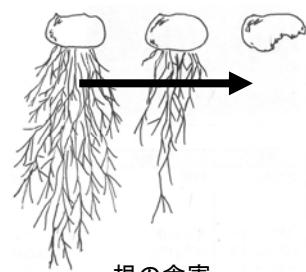
加害状況

成虫、幼虫ともに加害しますが幼虫による加害が大きく、シクラメンでは幼虫が根や球根を食害し鉢を移動すると株が横倒しになるくらい大きな被害をこうむります。

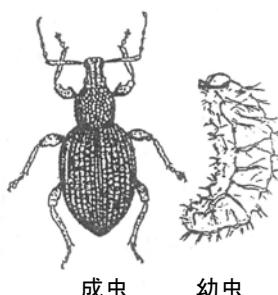
成虫は葉を葉縁から食害し、その食害痕は葉の縁から半円形状の特徴的な食痕を残すのでこの虫の被害であると判断できます。



葉の食害



根の食害



主な被害植物

花卉類	シクラメン、プリムラ、パンジー、ハイビスカス、インパチエンス、ベゴニア、ユリ、ミヤマオダマキ、キンギョソウ他
果樹	ブドウ他
樹木	イチイ、アジサイ、フジ、ツツジ、シャクナゲ他

防除方法

食害された葉には早期に殺虫剤を葉面散布し、幼虫対策として殺虫用の粒剤を全面散布し、植え替え時などにこれを土壤混和しておきます。

◆ Q & A ◆

Q

花壇に植えたマーガレットですが、花壇での冬越しはシャスターデージーのように耐えられるでしょうか、冬の管理を教えてください。(北区、Tさん)

A

マーガレットは別名モクシュンギク(木春菊)ともいい、原産地はカナリア諸島で、半耐寒性の常緑低木です。寒さの厳しい北国では地植えのままでは霜や雪の凍害のため越冬できません。この株を翌年も咲かせるには、夏の間に伸びた草丈を10cmぐらいに切り戻して鉢上げします。

この鉢上げ株の管理には二つのケースがあります。一つは、7~8°Cの室内で灌水を極控えて休眠越冬させて季節のよくなる4~5月から肥培して花を咲かせます。もう一つは、挿し木増殖の親株として利用します。この場合、鉢上げ株を暖かい日当たりのよい室内で肥培管理し、冬の間に伸びる新梢を切り戻しながら、良い挿し穂が多く取れる2~3月から挿し木により、多数の苗づくりをすることができます。

11月～12月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込開始日	費用・備考
園芸教室				
各種洋ランの冬の管理	11/18(日)	13:30～	11/11(日)	無料
シクラメン他 冬の鉢花の室内管理	11/25(日)	〃	〃	〃
正月用ミニ盆栽を作ろう	12/15(土)	〃	12/11(火)	2,500円
展示会				
洋ラン展	11/13(火)～18(日)	北海道蘭友会		
押花で綴る歳時記	11/20(火)～12/2(日)	香穂花		
シクラメン展	11/20(火)～12/2(日)			
リース展	12/4(火)～24(月祝)	豊平公園花とハーブの会		
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会「年賀状」	11/15(木)	10:00～	10/11(木)	1,500円
自然素材でリースを作ろう	12/6(木)	10:00～ 13:30～	11/11(日)	1,000円
コチョウラン植え替えサービスデイ (完全予約制)	11/17(土)	9:00～ 16:00	11/11(日)	植替え資材実費

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
冬囲い見学会	11/17(土)	10:00～	11/11(日)	200円
クリスマスとお正月の寄せ植え	11/9(金)	〃	10/11(木)	500円+教材費
外玄関に飾る本格的クリスマスリース	12/7(金)	〃	11/11(日)	〃
展示会				
植物を使った クリスマスディスプレイ	12/4(火)～24(月祝)		料金 入館料 130円	

その他のイベント

内容	日	会場	お問合せ
琴似発寒川サケ観察会	11/4(日)	琴似発寒川	
サケの採卵解剖実習	11/11(日)	豊平川さけ科学館	豊平川さけ科学館 582-7555
サケの人工受精体験	11/24(土)		
イサム・ノグチ バースデイコンサート	11/17(土)	モエレ沼公園	モエレファンクラブ 563-5655
子りす工房 「落ち葉の掛け軸」	11/8(木)、18(日)	西岡公園	西岡公園
公園スタッフと一緒に歩きませんか	毎週金曜日		582-0050

平岡樹芸センターからのお知らせ

平岡樹芸センターは11月4日をもちまして2007年度の営業を終了いたします。本年もたくさんのお客様にご来園いただきまして誠にありがとうございます。2008年度は4月29日から開園の予定となっております。よろしくお願いいたします。

豊平公園テニスコートからのお知らせ

豊平公園テニスコートの2007年度の営業は11月11日(日)で終了いたしました。たくさんのご利用、ありがとうございました。2008年度は4月下旬からオープンの予定となっております。